テスト計画書

プロジェクトマネジメント演習

2016年6月17日

矢吹研C班

ユーザ 　　　　田隈　広紀　様

シニアマネージャ 　　矢吹　太朗

メンバ

PM　 　1442104　　増田　準

メンバ 1442014 岩橋　瑠伊

1442037 加藤　健弥

1442045 川辺　明俊

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| PM確認 | シニア承認 | ユーザ確認 |
|  |  |  |
|
|
|
|
|

内容

[１．テストの概要 2](#_Toc453062432)

[1.1目的 2](#_Toc453062433)

[1.2 実施 2](#_Toc453062434)

[２．参考資料 2](#_Toc453062435)

[３．範囲 2](#_Toc453062436)

[４．環境 6](#_Toc453062437)

[５．実施者 6](#_Toc453062438)

# １．テストの概要

## 1.1目的

動作確認、また確認された不具合の改善によりシステムを問題なく動作させ、機能等の要求を達成すること。

## 1.2 実施

システム実装後、テストを実施すること。また、実施者はテスト報告書を作成しテスト内容と結果を記載すること。

# ２．参考資料

テスト実施に当たって以下の資料を参考にすること。

・要件定義書

・外部設計書

# ３．範囲

以下にテストの対象となる範囲を記載する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 機能 | 概要 |
| 1 | 節情報の送信  ※決定ボタン押下にて動作 | ユーザが選択した節情報に基づき、データベースから正確な節スケジュールを読み込み情報選択画面(1)に移行する。データベースと照合し、節スケジュールの正誤を確認すること。 |
| 2 | 情報選択画面(1)の表示 | 読み込まれた節スケジュールに基づいた情報選択画面(1)を表示する。その際、天候は予め「晴れ」が選択された状態であること。 |
| 3 | 天候情報の送信  ※決定ボタン押下にて動作 | 情報選択画面(1)でユーザが選択した天候の情報を、計算処理へ引き渡す。 |
| 4 | 計算処理 | 引き渡された天候の情報と、節スケジュールに基づく過去戦績をデータベースから読み込み、要件定義書にて規定した式の通りの値が出るよう計算処理を行う。後述するサンプルデータと照合し、式の正誤を確認すること。 |
| 5 | 情報選択画面(2)の表示 | 計算処理の結果から、情報選択画面(2)にて正確な勝敗予想の結果を表示する。最低３節分を手計算による結果と照合し、勝敗予想の正誤を確認すること。 |
| 6 | 管理者ログイン画面の表示 | システムにアクセスしたユーザに管理者ログイン画面を表示する。 |
| 7 | パスワード情報の送信  ※ログインボタン押下にて動作 | 管理者専用ログイン画面にてユーザが入力したパスワード情報をログイン処理へ引き渡す。入力の際、文字を「\*」で表示する。 |
| 8 | ログイン処理 | 送信されたパスワード情報を元にログイン成否を判断する。成否に応じて管理者データ記入画面、または管理者ログイン失敗画面の表示に移行する。成否両方の動作確認を行うこと。 |
| 9 | 管理者ログイン失敗画面の表示 | ログイン処理にて、間違ったパスワードが送信された場合、管理者ログイン失敗画面を表示する。 |
| 10 | 管理者データ記入画面の表示 | ログイン処理にて、正確なパスワードが送信された場合、管理者データ記入画面を表示する。その際、天候は予め「晴れ」が選択された状態であること。また年度は現在の年度、節は「第1節」をデフォルトとする。 |
| 11 | 選択したデータの送信  ※送信ボタン押下にて動作 | ユーザが選択した年度、節、チーム名、勝敗、天候の情報を入力処理へ引き渡す。 |
| 12 | 入力処理 | ユーザが選択したチーム名、勝敗、天候の情報が不足なく選択されているかを判断し、過去戦績としてデータベースに保存する。データベースを参照して、入力通りのデータが保存されているかを確認すること。  また、不足の有無に応じて送信完了画面、または管理者データ記入失敗画面の表示に移行する。 |
| 13 | 管理者データ記入失敗画面の表示 | 行ごとに１つでも選択漏れがある場合、また選択されたチーム名に重複がある場合に管理者データ記入失敗画面を表示する。選択漏れ、チーム名重複の両パターンでの動作確認を行うこと。 |
| 14 | 送信完了画面の表示 | ユーザが選択したチーム名、勝敗、天候の情報が不足なく選択されていた場合に送信完了画面を表示する。 |

・概要の項目が問題なく動作することがテスト合格の条件とする。

・各画面の名称、また各情報の範囲は外部設計書に基づくものである。

・外部設計書のシステム画面設計の項目に記載した注意事項を参考にすること。

# ４．サンプルデータ

計算処理テストに使用するサンプルデータを以下に記す。

・ここでは一例として、仙台・鹿島・浦和・大宮の4チーム、範囲を過去3年としてサンプルデータを示す。

・以下は過去戦績データのサンプルである。



・以下は上記の過去戦績を元にした4チームの勝率データもサンプルである。

　　項目ごとに勝利数÷試合数で算出した値が以下の通りとなる。



・以下は上記の勝率データの値を元にした勝敗予想のサンプルである。

　　該当する項目ごとに、上記で示された値（対チーム勝率・ホームorアウェー勝率・天候別勝率）の積が示される。



・解説

・仙台の第1節

　　仙台の対鹿島の勝率=2/6…0.3333

　　仙台のホーム時勝率=17/45…0.3778

　　仙台の晴れの日勝率=9/21…0.4286

　　第1節の値（すべての積）…0.053968

　・鹿島の第1節

　　鹿島の対仙台の勝率=4/6…0.6667

　　鹿島のアウェー時勝率=2/7…0.2857

　　鹿島の晴れの日勝率=10/18…0.5556

　　第1節の値（すべての積）…0.10582

　・すべての積が、仙台＜鹿島となるので、第1節は鹿島の勝利と予想することができる。

# ５．環境

PM演習で用いるWebサーバの上で起動させ、動作確認を行う。

# ６．実施者

矢吹研A班（PM:川崎貴雅）

・仕様の変更、もしくは実施後のテスト項目の追加がある場合は矢吹研C班（PM:増田準）との協議を設け、検討すること。